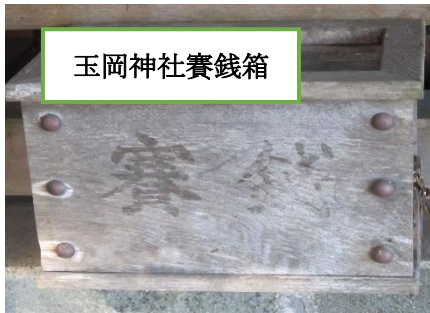


金浦瓦版

編集・発行：金浦区自治会
発行日：2023. 5. 8

神社遺物シリーズ 3

記録上最も古い賽銭箱は、1540年に鶴岡八幡宮に置かれた賽銭箱が日本最古とされる。室町時代に伊勢参宮や本山詣が庶民に広がり、賽銭を奉る風習が定着したとある。



玉岡神社賽銭箱



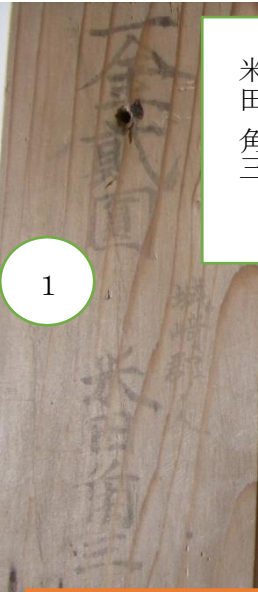
二国神社賽銭箱



二国神社鬼瓦二体

文政四→1821年
獻主（けんしゅ：願主）→寄進
吉祥日（きつじょうにち）→行事を行うのに吉とされる日
同苗（どうびょう）→同じ名前（苗字）
但州→兵庫県北部

金幣（お祓いの時に使用）の制作者は出石邑（村）の兼光と言う人物。寄進をしたのは西枚田村の枚田氏道接と枚田治左衛門。江戸時代の文政4年に金浦から和田山の枚田氏に寄進のお願いをした結果だと思われる。枚田氏は立派な構えの家に住む地主。



1

城崎郡
一金 貳圓(二円)
米田角三



2

鳥居建設寄付
三宅理之助
一金 拾五圓也

15円 昭和時代、三宅博さんの伯父。事業で成功を収め金浦もその恩恵に多々あずかる。

文政四巳正月吉祥日獻主但州 朝来郡西枚田村
牧田氏道接 同苗治左衛門

①②③ とも二国神社



3

切下型金幣（きんぺい）



天保十三 吉月吉日
但馬出石邑
兼光
□□□ 工作人

天保13年→1842年 金幣→神に祈る時に捧げ、お祓いを使う。